

第2期北海道登別市基本計画の概要

計画のポイント

登別市は、登別温泉やカルルス温泉に代表される観光資源「温泉」に恵まれており、国内外合わせて年間約400万人の観光客が訪れる。宿泊業などの観光関連産業が地域経済の中心となっており、市産業全体における売上は約20%・付加価値額は約19%・従業員数は約16%を占める。また、登別温泉地区には、創業から100年以上の歴史を誇る宿泊施設のほか、道内各地で広く事業を展開している企業による宿泊施設などが立地している。

こうした地域特性を生かした事業を推進し、地域経済の根幹をなすこれらの宿泊業を営む企業を基盤として、あらゆる観光事業を促進することにより、地域内の企業への高い経済波及効果をもたらす状況を創出し、併せて雇用の安定を図る。

促進区域

北海道登別市

経済的効果の目標

- ・1件あたり平均50百万円の付加価値額を創出する地域経済牽引事業を2件創出。
- ・これらの地域経済牽引事業が促進区域で1.69倍の波及効果を与え、促進区域で**170百万円の付加価値額を創出**することを目指す。

制度・事業環境の整備

- ・不動産取得税・固定資産税の減免措置
- ・情報処理の促進のための環境の整備（公共データの民間公開に関する事項等）
- ・事業者からの事業環境整備の提案への対応
- ・人材育成支援
- ・賃上げ促進支援

地域経済牽引事業の承認要件

【要件1：地域の特性を活用すること】

登別市の登別温泉やカルルス温泉等の観光資源を活用した**観光関連分野**

【要件2：高い付加価値を創出すること】

- ・付加価値増加分：4,611万円超

【要件3：いずれかの経済的効果が見込まれること】

- ①売上：0.3%増加 ②雇用者数：2.7%増加

「促進区域図」



地域経済牽引支援機関

- ・(公財)室蘭テクノセンター
- ・日本工学院北海道専門学校
- ・(一社)登別国際観光コンベンション協会
- ・登別商工会議所

計画期間

計画同意の日から令和10年度末日まで